

科学の面白さ訴え

神戸でも実験、ネット中継も 青少年対象に祭典

実験や工作などを通じて子供たちに科学の面白さを伝えようと、「青少年のための科学の祭典2003 ひょうご」第九回大会・神戸会場（同実行委など主催・文部科学省など後援）が七日、神戸市立青少年科学館（同市中央区）で開かれた。写真。

同実行委の中澤克行・県立須磨東高校教諭（右）は、「小学生のときに大会を見に来て興味を持ち、出展者として参加している生徒も多い。今後インターネット配信など意欲的な取り組みを続けていきたい」と話して

同大会は八月上旬から県内各地で開かれている。初日の六日からの二日間で約五千人の来場者があった神戸会場では、今年初の試みとして、県立舞子高校の生徒らによる液体窒素を使った実験などがインターネットで生中継された。

同大会は「阪神大震災で傷ついた子供たちを科学実験の楽しさで励ます」と、平成八年、県内の教職員有志の呼びかけで始まった。会場では理科系の教職員や中高生、大学生のボランティアなどが静電気や水道の水流を曲げる実験など、さまざまな理科実験を披露。興味深げに実験に見入る親子連れや、紙皿での聴診器製作を実際に体験してはしゃぐ子供の姿があった。



神戸

神戸・明石
三田・三木

神戸総局

〒650-0015
神戸市中央区多通
4丁目1-5
078(351)1771
FAX 078(361)3001
明石通信部
〒673-0022
明石市王子2-6-7-101
電話・FAX
078(928)3832

三田通信部
〒669-1522
三田市下田中尼子
602-4-403
電話・FAX
079(562)5700

販売のご用は
078(341)0454

広告のご用は
078(371)0112

購読お申し込みは
0120-34-3733



救急

「下水道への
神戸市が
施設見学や講習
イベントに参加
市民生活を支える重要「水
なライフラインとなる下ら

取り付けて園児を乗せ、園内をパカパカと走り回る。三重「卒園してからも、何か子どもたちの記憶に残るものをと思い、購入しました」と、同園の二渡清理事長（55）。体をなでると、うれしそうな表情を浮かべるプリンちゃん。園児たちは「お顔がかわいくて、大切なお友だち」と話し、今ではすっかり同園の「人気もの」だ。